

令和3年度 平取ダム工程コスト検討委員会の  
審議結果について

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部では、沙流川総合開発事業（平取ダム）において、適切な事業執行及び総合的なコスト縮減策について専門家等の第三者からの意見・助言をいただくため、「平取ダム工程コスト検討委員会」を下記のとおり開催しました。

1. 日 時 : 令和3年11月5日(金)  
2. 場 所 : 平取町中央公民館 1階大会議室  
3. 委 員 : 鈴木 克典 北星学園大学経済学部経営情報学科教授  
藤間 聡 室蘭工業大学名誉教授(欠席)  
山下 弘市 元北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員  
(※50音順)

4. 審議内容

(1) 事業の進捗状況

○事業の概要

- ・実施箇所 北海道沙流郡平取町
- ・事業期間 昭和48年度～令和3年度
- ・総事業費 約1,410億円

○事業状況

- ・事業費ベースの進捗率は令和3年度末で100%予定。
- ・流域の社会情勢に大きな変化なし。
- ・令和4年度から運用開始予定。

(2) 令和3年度工事内容

(3) コスト縮減への取り組み

【前回の意見に対する取組状況】

- ・事業完了に向け、イニシャルコストとランニングコストを踏まえた上で、引き続きコスト縮減に努める。
- ・各工事の進捗に応じたきめ細やかな工程調整会議を行うことで、限られた作業ヤード内でのクレーンの共用等が可能となり、コスト縮減や適切な工程監理を行うことが可能となった。

【今年度のコスト縮減】

- ・工事間のクレーン共用
- ・ダムコン設置機器の汎用品への見直し

【ダム管理移行後のコスト縮減(案)】

- ・ダム貯水池運用に合わせた堆砂測量手法の最適化
- ・流木収集・処分方法の効率化

## 5. 審議結果

### ○主な意見

- ・本委員会でのこれまでの審議を踏まえ、多方面にわたりコスト縮減がなされ、かつ、工程監理が適切になされたと評価出来る。
- ・このコスト縮減の取り組みを、記録し残していただきたい。
- ・管理移行後においても、流木の配布など、今後も地域住民に開かれた形でコスト縮減に取り組んでいただきたい。
- ・近年の再生可能エネルギー活用の時勢に鑑み、流木の再資源化等について、管理移行後も引き続き、検討していただきたい。